

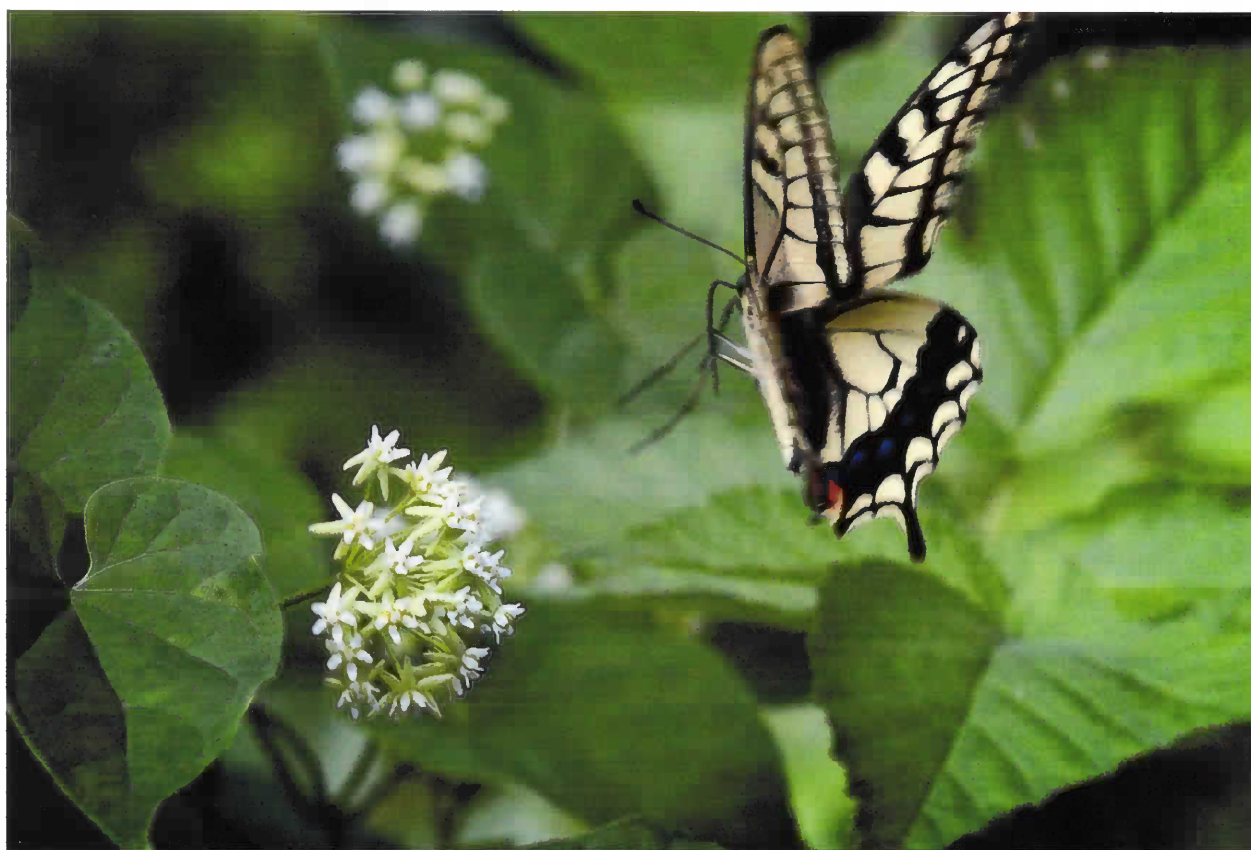
月刊 やちまなこ

2017. 8.15 発行

No.237

8月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

7月は気温が30度を超えた日が連日続いて釧路市では7月の平均気温が18.2度となり、7月中の気温としては1978年の18度を39年ぶりに更新した。今月も暑さが続くかと思っていたら、曇や雨の日が多く、連休中は気温も上がらず、まるで10月上旬のような気温に釧路湿原を訪れた人たちも驚いていたようだ。それでもお盆の帰省も含め、観光シーズンの中、展望台や遊歩道は朝早くから利用者が目立ち、川を目指して進む色とりどりのカヌーはしばらくすると湖面を漂う霧の中へ消えていった。



塘路フィールドノート (7/15～8/14)

【植物】

塘路湖畔でアキカラマツが開花しました。早くも「秋」の名を冠する花が咲き始めた塘路湖畔。ひと月前の暑さが嘘のように花も気候も秋めいてきています。



アキカラマツ (塘路湖畔)
外見は地味ですが、季節の移り変わりを感じさせるという意味では存在感のある花



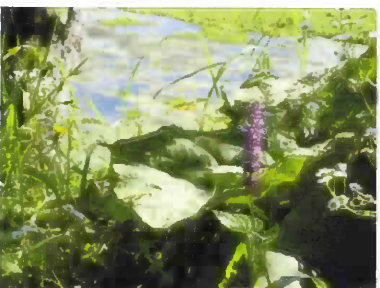
ツリガネニンジン (サルボ展望台付近)
咲き始めてややスリムな印象ですが、これからツリガネ状の花冠が増えてきます



オオウバユリ (道道1060号)
コッタロ展望台近くの樹林下で周りを圧倒する存在感を放っていました。



ナガボノシロワレモコウ (コッタロ湿原)
咲き始めたばかりの個体。道道1060号沿いで少しずつ開花してきています



カワミドリ (サルルン展望台)
サルルン展望台付近の比較的日常のよい場所で多く見られます



ミゾソバ (塘路湖畔)
一つ一つは小さい花ですが、群生して咲くことが多いため、よく目立ちます

【野鳥】

野鳥たちの子育てが一段落し、塘路湖畔は静まり返っています。野鳥の気配をあまり感じないこの季節ですが、よく見ると、木の枝の上で幼鳥が親鳥の帰りを待っている姿を見ることができます



アカゲラ (塘路湖畔)

この時期の塘路湖畔では比較的確認しやすい鳥。しきりに木をつついていました



ゴジュウカラの幼鳥 (塘路湖畔)

親鳥を探しているのか、しきりにキョロキョロと周りをうかがっていました



シジュウカラの幼鳥 (塘路湖畔)

まだ警戒心が薄いからか、比較的近くに寄ってくることもあります

【昆虫】

今年はチョウの活動が活発なようです。特にこの季節はカラフルな模様のタテハチョウの仲間が目立ちます。一方で、今年はスズメバチの発生数が例年に比べて少ないようです



コヒオドシ (あるこっと入口)

時々起こる怪現象、「センター入口自動ドア誤作動事件」の犯人 (であることが多い)



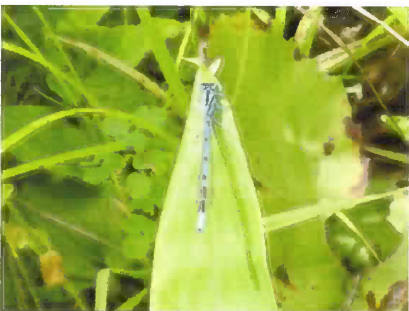
コムラサキ (サルボ展望台駐車場)

駐車場の水たまりに吸水に来た個体。吸水を終わってちょっと一休み



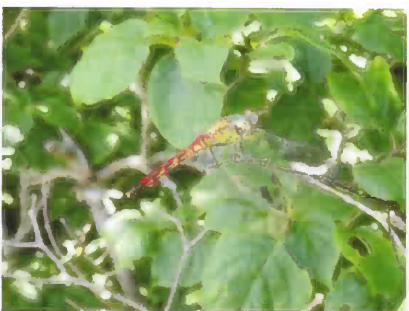
クジャクチョウ (あるこっと)

鮮やかな色彩のタテハチョウ科のチョウの中でも、翅の孔雀紋は一際目を引きます



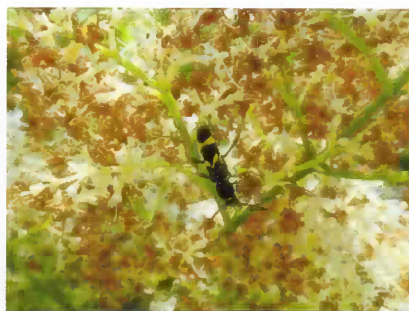
エゾイトトンボ (サルルン展望台)

サルルン展望台付近では、類似種のルリイトトンボとともによく見かけます



マユタテアカネ (サルルン展望台)

腹部の黄斑が目立つことから、雌の未成熟個体ようです



キスジトラカミキリ (塘路湖畔)

ハシドイの花を訪れた個体。ハシドイの花には他にも多くの昆虫が訪れます



ヨブスマソウに集まる昆虫たち

大きいものは2m以上にもなるキク科の植物ヨブスマソウ。その巨体が圧倒的な存在感を放つ一方、夏から秋にかけて咲く花はやや地味なため、注目されることは少ない植物ではないでしょうか。

しかし先日、サルルン展望台を訪れた際、周辺で群生していたヨブスマソウを観察してみたところ、筒状の花にはチョウやハチの仲間が、そして、大きな葉の上ではイトトンボが翅を休めており、ちょっとした昆虫の見本市状態になっていました。チョウやハチには花蜜を、トンボには程よい休憩スペース?を提供してくれるヨブスマソウは昆虫たちにとっては非常に魅力的な植物のようです。

(写真左上:ウラギンヒョウモン、右上:ミヤマカラスアゲハ、左下:エゾトラマルハナバチ、右下:ルリイトトンボ)

個性あふれる作品 バードカービング展を開催

7月23日から8月13日までバードカービング展を開催しました。2016年度自然ふれあい行事「バードカービング初心者講座」参加者6名の作品を展示し、釧路湿原ボランティアレンジャーの沢田正雄さんが講師を務め、今回は釧路湿原に春を告げるウグイスをモデルに作りました。昨年9月から今年1月まで5回の講座を通して作った個性あふれる作品とともに講師の沢田さんの作品も展示しました。



新イベント、「釧路湿原 自然と歴史を訪ねて」を開催しました



8月12日(土)、標茶町郷土館と共催で、サルボ展望台駐車場～サルルン展望台周辺の自然と歴史を二本立てで紹介する新イベントを開催しました。イベントでは、標茶町郷土館の坪岡学芸員から道中に点在するアイヌ人や縄文人の遺跡等について紹介があり、植物を中心とした自然については当センターの中野が紹介しました。参加者たちはかつて当地で暮らした縄文人やアイヌ人の暮らしぶりについての坪岡学芸員の解説に熱心に聞き入り、また、道沿いに咲く植物については積極的に質問するなど、当地の自然と歴史について興味を持っていただけたようでした。

9月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎バードカービング初心者講座 1回目(全5回)

[日 時] 9月3日(日) 10時～15時

[定 員・参加料] 10名 ・材料費5,500円

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

※5回の講座に参加可能な方

・申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで。

☆秋の花を見に行こう

[日 時] 9月10日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 ・無料

・申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 7/15(3:57,19:00). 7/31(4:12,18:45). 8/14(4:28,18:25)

～編集後記～

■お盆を迎えた釧路湿原には帰省を含め、観光客の姿を数多く見かけるようになりました。エコミュージアムセンターでもサルボ展望台やコッタロ湿原展望台利用の問合せがありますが、サルボ展望台駐車場は国道のカーブ沿いにあるため、車の出入りには注意して下さい。コッタロ湿原展望台までの道路は砂利道です。スピードの出し過ぎや歩行者に注意して楽しい旅行をしてください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料